

◎算数

【正答率の高かった問題】

- ① 計算問題
- ② 棒グラフの読み取り問題
- ③ 除法を計算しやすい式にして計算する問題

【課題】

図形の性質を理解し、2つの合同な図形を組み合わせて新しい図形を構成すること。



示された図形の面積の求め方を、筋道を立てて数学的な表現を使って説明すること。(下記の問題★)



複数の資料の特徴や傾向を関連づけ、1つの資料からは判断することができない事柄について判断すること。(下記の問題★★)



【対策】

低学年から図形を「ずらす」「回す」「裏返す」などして、他の図形を構成する経験を積むことで、図形の定義や性質を十分に理解させたり、図形に対する感覚を養ったりしていきます。

授業の中で、積極的に算数用語を使って考えや理由を話す場面を多く取り入れていきます。図や式、資料などを指さしながら説明したり、分かりやすい例文をまねしたり、説明する力を育てます。

3年生の「棒グラフ」、5年生の「単位量当たり」の学習では基本的な知識と技能が確実に身に付くよう、指導します。そして、理科や社会など他の教科でも複数のグラフを関連づけて考える学習に積極的に取り組みます。

★ ゆうたさんたちは、2つの合同な台形でつくられた図1の形の面積を求めようとしています。

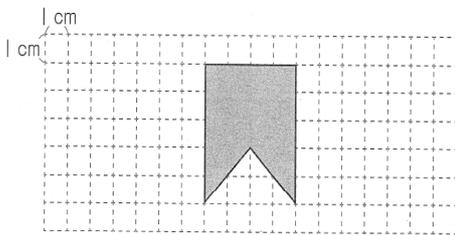


図1

【ちひろさんの求め方】

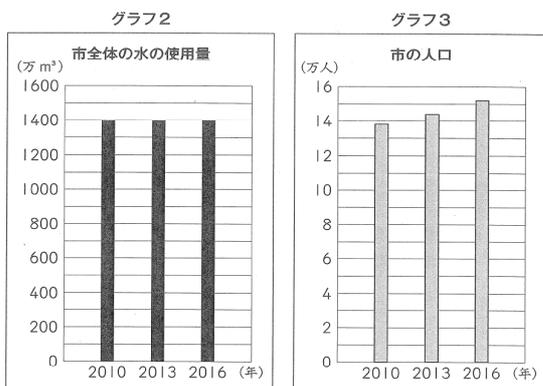
$$\begin{aligned} 5 \times 4 &= 20 \\ 4 \times 2 \div 2 &= 4 \\ \underline{20 - 4} &= 16 \end{aligned} \quad \text{答え } 16 \text{ cm}^2$$

【ちひろさんの求め方】の中の「 $20 - 4$ 」は、どのようなことを表していますか。「20」と「4」がどのような図形の面積を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

(正解)

20は、長方形の面積を表しています。
4は、三角形の面積を表しています。
 $20 - 4$ は、長方形の面積から三角形の面積を引いていることを表しています。

★★ 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思います。グラフ2とグラフ3を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



あやのさんが言うように、グラフ2とグラフ3を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。

2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだだけを、グラフ2とグラフ3からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

(正解) 1

2. 質問紙から見たこと

【良好であった点】

○ほぼ 100% の児童が、「地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある」「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えている。

中池見を中心に体験学習などをしてきた成果が表れています。また、地域や子ども会、東郷公民館での行事などに積極的に参加しているためだと思います。

○「将来の夢や目標を持っている」と答える児童の割合が高い。

○「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している」と答える児童の割合が高い。

○新聞を読んでいる児童が多い。

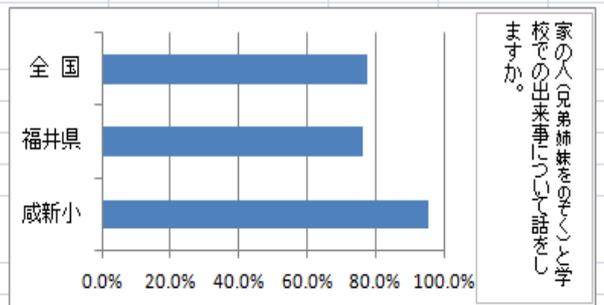
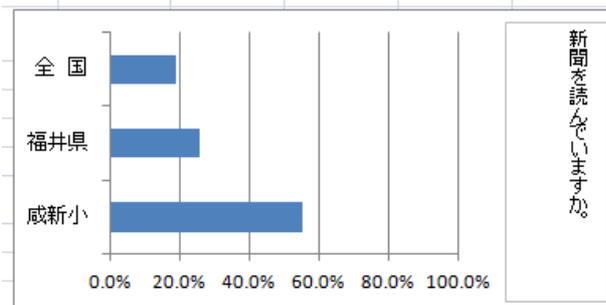
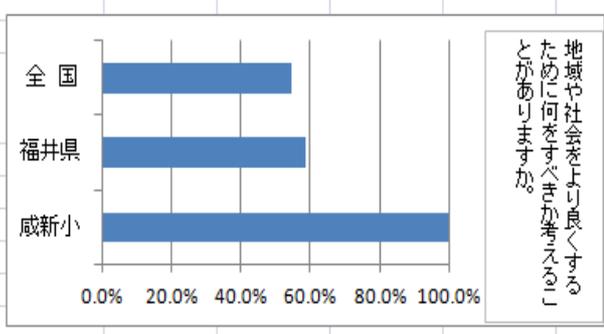
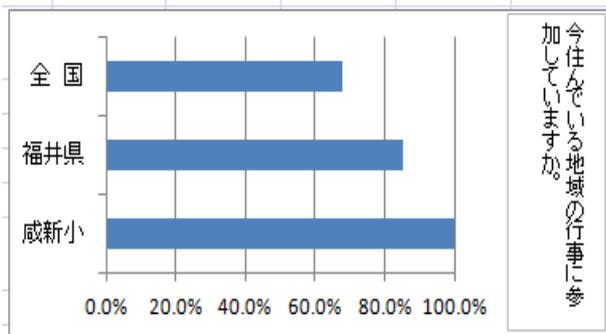
○学習に前向きな児童が多い。

各教科に対する興味・関心も高い。

「自分で考えよう」「自分の考えを友だちに分かってもらいたい」と学びに向かう気持ちが身についています。学びの土台となる部分ですので、大切にしていきます。

○「家の人（兄弟姉妹をのぞく）と学校での出来事について話をする」と答えた児童が非常に多い。

今後も学校・学級だよりやホームページを通して、話題や情報が提供できるように努めます。



【課題】

「読書は好き」と答える児童は 8 割いるが、平日に 1 時間以上読書をする児童は 27% と少なく、6 割の児童は 30 分以下である。

「自分で計画を立てて勉強をしている」児童は多いが、約半数の児童が、家庭学習の目標時間（1～2 時間）を達成していない。

【対策】

朝読書以外の時間に読書している児童が少ないので、今後もブックフライデーを実施し、読書に親しむ機会を増やしていきます。

自分で計画的に学習する力と意欲をさらに伸ばすために、自主学習をどんどん奨励して、やる気を持って取り組めるように支援していきます。

今後も、教職員一同、[学校教育目標]『進んで学び、心豊かにたくましく生きる子の育成』に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

